

様式第十八の四（第11条の3第3項関係）

認定事業適応計画の内容の公表

1. 認定の日付

令和4年1月28日

2. 認定事業適応事業者の名称

サントリープロダクツ株式会社

3. 認定事業適応計画の内容

（1）事業適応に係る事業の目標

水や農作物など自然の恵みに支えられた食品酒類総合企業として、「水と生きる」をステークホルダーとの約束、「人と自然と響きあう」を使命に掲げ、創業以来、持続可能な社会の実現を目指してきた。温室効果ガス排出量削減に関して国際的にも動きが加速している中で、弊社においても2030年目標を掲げ、これまで以上に製品製造時でのCO2排出量を削減しながら付加価値向上と環境負荷低減を両立する活動に取り組む。

（2）その事業の生産性を相当程度向上させること又はその生産し、若しくは販売する商品若しくは提供する役務に係る新たな需要を相当程度開拓することを示す目標

2022年度より事業適応を開始し、2024年度（目標年度）までに我が社全体の炭素生産性を24.8%向上することを目標とする。

（3）財務内容の健全性の向上を示す目標

2024年度（計画終了年度）に経常利益を計上することを目標とする。

（4）事業適応の種類

エネルギー利用環境負荷低減事業適応

（5）計画の対象となる事業（日本標準産業分類における中分類名称及びその分類コード）

飲料・たばこ・飼料製造業（10）

（選定の理由）

計画の対象となる事業は主に清涼飲料製品を製造するものであるため。

（6）事業適応の具体的内容

計画初年度である2022年度に、以下の生産工程効率化等設備導入を行う。

木曾川工場では、排熱回収システムを導入し、熱回収率を向上させる。具体的には、レトル

ト殺菌装置から排出される水は工程によって温度が30℃から90℃まで変化するが、従来は同タイミングで水を回収し同じタンクに回収していたためにエネルギー回収効率が低かったところを、殺菌工程によって回収するタンクを増やすことによって高温の水と低温の水に分けて分別回収することができエネルギー回収の効率を向上することにより、都市ガス使用量を削減させる。

高砂工場にて、外気温もしくは流水解凍を行っているが時間がかかるために高効率冷蔵保管（解凍）システムを導入することによって、効率よく製造することで付加価値を向上させる。

宇治川工場と高砂工場では、31台のボイラーを運用しているが、そのうち22台の運転効率はそれぞれ約94%及び96%である。今回、導入から10年以上経過したボイラー14台を高効率なシステムに更新することで96%及び98%に運転効率を改善することとなり、従来よりも都市ガス使用量が削減し、炭素生産性を向上させる。

更に高砂工場において、ポンプや熱交換器の追加、包装機械設備のアタッチメント追加・調節を行い、ボトリングラインの処理能力を向上させることで、製造における付加価値向上と環境負荷低減を両立する。

計画2年目の2023年度では、多摩川工場で12台のボイラーを運用しているが、運転効率は約94%である。10年以上経過したボイラーを高効率なシステムへ更新することで、96%に運転効率を改善することとなり、従来よりも都市ガス使用量が削減し、炭素生産性を向上させる。

高砂工場において約2,000kwの太陽光発電システムを設置し工場にて消費することで、電力の調達と消費に伴うCO2排出量を減少させる。

これに加え、期中より購入している電力量を段階的に再生可能エネルギー由来の電力量に切り替えることで、電力量使用に伴うCO2排出量ゼロを目指して、炭素生産性を向上させる。

(7) 事業適応の開始時期及び終了時期

開始時期：令和4年1月

終了時期：令和6年12月